

政策評価トピックス 第 61 号(2005 年 11 月 15 日)

・青森県：生活創造推進プランのフォローアップ

青森県では、平成 16 年 12 月に「生活創造推進プラン」を策定していますが、このプランは、五つの社会像を実現するための 23 の政策、政策を実現するための 65 の施策、施策を実現するための 815 の事業からなっています。17 年度は、青森県総合開発審議会に設置した生活創造推進フォローアップ委員会において、プランに掲げる社会像ごとに、県と県民がめざす目標として設定した期待値の動向分析を行い、目的達成に向けた今後の課題と施策の展開方向を示すことにしていますが、農林水産関係は、社会像 B. の「いきいきと働ける豊かな社会」に属し、「攻めの農林水産業」の推進の政策では、設定された東京都中央卸売市場に占める本県産野菜販売額のシェア、東京都中央卸売市場に占める本県産果実販売額のシェア、農業産出額、新鮮で安全な食品が買えることに対する満足度、認定農業者数の指標ごとに分析が行われ、このほど公表されました。

<http://www.pref.aomori.lg.jp/plan/singikai1021/teigensyo.pdf>

・福島県：17 年度事業評価における意見書

福島県事業評価委員会は、審議対象施策及び事業を抽出選定し、審議した結果に基づいて、県知事に評価方法等について意見を提出しました。主な意見として、1) 地方分権の推進や民間活力の導入等の観点から、県と市町村、県と民間の役割のあり方についても検討し、次期の施策、事業の展開に反映させていくこと、2) 指標と目標の設定を推進するとともに、設定済みの指標についても改めて検討し、適正化を図ること、3) 現場主義を徹底し、事業の次の展開に結びつけるため、地域の課題を的確に把握し、評価に取り入れること、4) 全国、東北他県と比較する努力がもっと必要であること、5) 評価結果がより積極的利用され、政策形成過程に反映できるよう、なお一層の改善を図ること、があげられています。

<http://www.pref.fukushima.jp/hyoka/17hyouka/iinkai/iken/ikensyo.pdf>

・静岡県：業務棚卸表

静岡県の業務棚卸表は、行政の目的を「魅力ある“しずおか”2010 戦略プラン」と一体化させ、室ごとに目的を達成するための仕事内容を書き出し、目的とそれを実現するための手段を体系的に 3 段階で表現し、項目ごとに目的達成度の評価の尺度、その実績、目標値、達成期限を数値で表していますが、このほど 17 年度の評価結果を公表しました。

例えば、農業水産部農業水産企画総室マーケティング室をみると、地域を支える産業の活力向上の中で、農業の振興の目的、任務目的、業務概要、16 年度及び 17 年度の事業が記され、その右の欄に指標別に実績値、目標（年度）と困難度が、その次に評価として指標の達成度、手段等、更に 17 年度の改善のポイントや重点方向等を分析しています。

<http://www2.pref.shizuoka.jp/all/gyotana.nsf/index>

・島根県：17 年度施策評価結果

島根県では、17 年 2 月に施策目的を達成するための貢献度合いが大きいと考えられる基本事務事業を有している部局を基本に、複数の部局で実施されている施策も含めた施策責任者を定め、その上で、施策責任者を評価責任者として施策評価を実施しています。施策評価会議では、各課長・室長が基本事務事業評価（原案）を持ち寄り、情報の共有を行う、施策責任者が示す方針の下に、共通の判断基準を持つ

て、各事務事業の優先度・投入コストの今後の方向性について、評価原案の相対的評価の精度を高め、評価確定案を取りまとめています。

75本の施策について16年度の目標達成度状況を見ると、目標に対して上回ったと判断された施策が19本、概ね目標どおりと判断された施策が34本、目標を下回ったと判断された施策が22本で、目標を下回った22の施策については、各施策責任者が下回った理由と19年度目標達成に向けた改善方針を、施策評価シートにその考えを明らかにしています。

<http://www.pref.shimane.jp/hyoka/>